

アルカリシリカ反応抑制対策

コンクリート中のアルカリ総量を規制

和光産業(株)鳥取第二工場

(令和7年 2月度)

工場長	品管責任者	試験係
森	徳田	徳田

〔アルカリ総量の計算表〕

設計基準強度 18.0—8—20

①	ベースセメントの全アルカリ (%)	0.62
②	単位セメント量(kg/m ³) (配合表に示された値)	285
③	1m ³ 当たりのセメント中のアルカリ量(kg/m ³) ②X①/100	1.767
④	細骨材(陸砂)中のNacl量%	0.000
⑤	単位細骨材(陸砂)量(kg/m ³) (配合表に示された値)	643
⑥	1m ³ 当たりの細骨材(陸砂)中のアルカリ量(kg/m ³) 0.53X④X⑤/100	0.000
⑦	粗骨材中のNacl量%	0.000
⑧	単位粗骨材量(kg/m ³) (配合表に示された値)	1132
⑨	1m ³ 当たりの粗骨材中のアルカリ量(kg/m ³) 0.53X⑦X⑧/100	0.000
⑩		
⑪		
⑫		
⑬		
⑭		
⑮		

〔計算の結果〕

コンクリート1m ³ 当たりの全アルカリ量(kg/m ³)	③+⑥+⑨	1.767
国土交通省の規制値(kg/m ³)		3.00以下
判 定		合